

2017 年度 入学 試験 問題

地 理 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

SECRET

TOP SECRET - COMINT

SECRET - COMINT

SECRET - COMINT

SECRET - COMINT

SECRET - COMINT

SECRET - COMINT

SECRET - COMINT

SECRET - COMINT

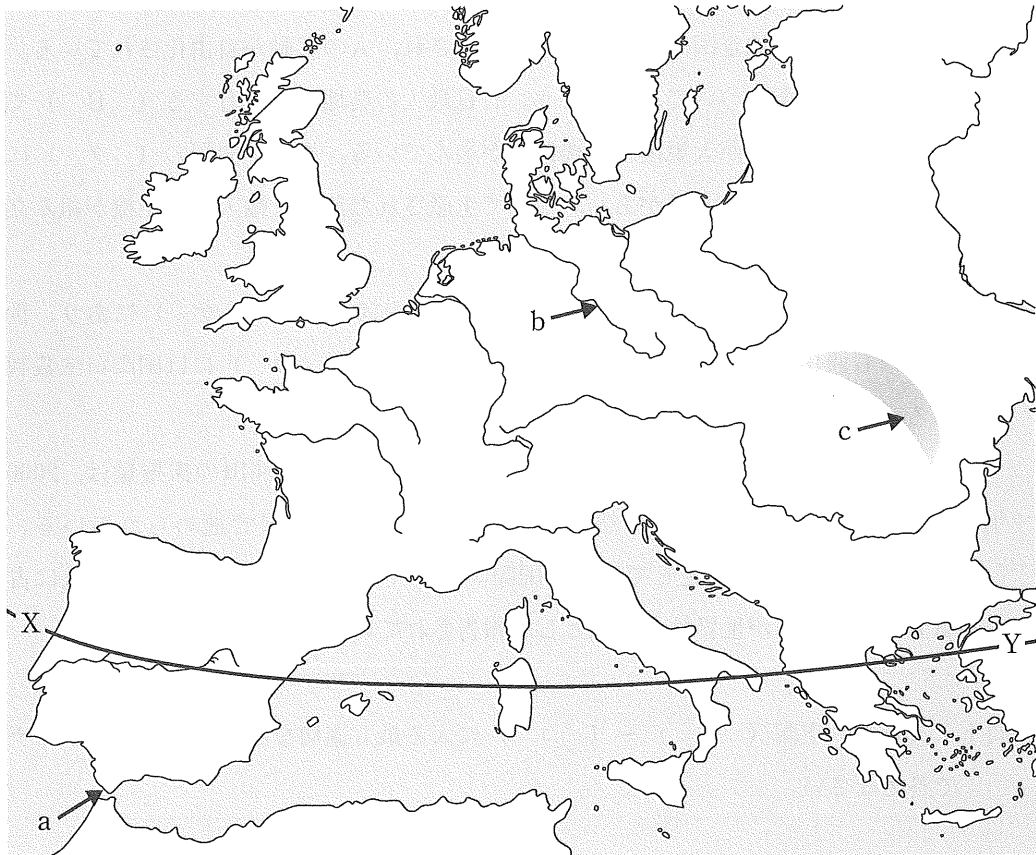
SECRET - COMINT

SECRET - COMINT

TOP SECRET - COMINT

I 次の地図と文章はヨーロッパに関するものである。以下の問1～問3に答えなさい。

(30点)



ヨーロッパは、市民革命や産業革命を経て、世界で最も早く近代社会が成立した。市民革命以前には、地図中aで示される（ア）岬の周辺海域では19世紀初頭にナポレオン戦争の最大の海戦が行われた。

地形に着目すると、ヨーロッパには複数の国の領土を通過する国際河川が多数ある。たとえば、地図中bで示される（イ）川は、平野を流れる河川の河口部が沈水してラップ状に開いた入江である（ウ）を形成している。また、1992年に完成した（エ）運河によって、北海と黒海の水運が可能になった。北ドイツ平原やフランス平原は安定陸塊であるが、地図中cで示される（オ）山脈は新期造山帯に属している。

20世紀に2度の世界大戦の舞台となったヨーロッパは、第二次世界大戦後に市場統合の努力を継続してきた。1993年の（カ）条約の発効に伴いヨーロッパ連合（EU）が発足し、EUの本部は（A）に設置されている。（キ）協定により、ヨーロッパの多くの協定国間で国境管理が廃止され、人の移動が自由化されている。

EU加盟国の産業についてみてみよう。EU最大の農地面積を有する（B）では、農業人口は少ないが大規模化や機械化が進んでいる。また、同国の（ク）には大型旅客機メーカーの本社があり、他国で生産された部品を輸入し航空機が組み立てられている。

（C）にはヨーロッパ最大のコンテナ取扱量を誇る港が（ケ）にあり、世界最大級の石油化学工業地帯が形成されている。同国の（コ）には国際司法裁判所がある。

エネルギーに着目すると、1960年代に開発が始まった北海油田の採掘量は、2000年頃から減少に転じており、自然エネルギーへの転換が各国で進められている。（D）は、偏西風が安定しており、国際エネルギー機関によると、総発電量に占める風力発電の比率が世界最大の国として報告されている。

問1 文章中の空欄（ア）～（コ）に入る最も適切な語句や地名をカタカナで答えなさい。

問2 文章中の空欄（A）～（D）に入る国名を答えなさい。

問3 地図中のX-Y線は北緯40度線を示している。この緯線から最も離れた首都を下記の①～⑤から選び、その記号で答えなさい。

- ① アンカラ ② 北京 ③ ソウル ④ ワシントンD.C.
⑤ オタワ

II 次の文章と表はワインに関するものである。以下の問1～問3に答えなさい。なお、文章中の（ A ）～（ F ）は、表1の（ A ）～（ F ）にそれぞれ対応している。（30点）

表1によれば、2012年におけるワイン生産量の世界第1位は（ A ）である。輸出量および消費量（1人当たり年間消費量も含む）も上位3位に入っている。面積が約30万平方キロメートル、人口が6,000万人程度の同国は、国土が南北に細長く伸び、山の多い地形で、（ ア ）気候の地域が広がり、ブドウの栽培に適している。同国の⁽¹⁾北部では古くから工業化が進んでいる一方、南部では貧しい農村地域が残り、1つの国の中で南北間格差が存在している。

ワインの生産量と消費量で世界第2位、輸出量で第3位のフランスは、⁽²⁾シャンパーニュ地方やブルゴーニュ地方といったワインの名産地を有している。生産量では（ A ）とフランスに続き第3位、輸出量では第1位のスペインにも、⁽³⁾カタルーニャ地方やアンダルシア地方のような有名なワイン産地がある。

ワインの生産で第4位の（ B ）と第5位の中国は、ともに人口規模の大きい国である。（ B ）は、ワイン界では新興国とみなされることがある。3億を超える人口も手伝って、世界でもっともワインを消費している。同国のワインの9割前後は、（ ア ）気候の広がる西海岸沿いの（ イ ）州で生産されている。

ワインの生産量の第6位から9位までは、すべて南半球の国がならんでいる。第6位の（ C ）は、（ B ）や（ D ）とともに、ワイン新興国として注目されている。最高峰が標高7,000メートル近くある（ ウ ）山脈に沿って南北に長く伸びた国土の中で、コキンボ、アコンカグア、マイボ等の中部地域を中心にブドウが栽培され、ワインが生産されている。（ C ）は、近年、日本にとってワインの主要な輸入相手国になっている。

第7位の（ D ）は、東南部がワイン生産の中心地域である。その中でも、南（ D ）州の南東部は（ ア ）気候が広がり、石灰岩の上に鉄分の豊富な赤土がかぶさった（ エ ）とよばれる土壤をはじめ、水はけのよい土地に恵まれているため、ブドウ栽培に適しており、良質のワインが醸造されている。

第8位の（ E ）のワイン産地は、（ ウ ）山脈をはさんで（ C ）の産地

に向かい合うように広がっている。中でもメンドーサ地域は同国のワイン生産量の7割前後を占めている。第9位の（ F ）は、ワイン生産国として知名度は低いが、（ B ）や（ D ）よりもワインの歴史は古いといわれている。（ F ）の西南端に位置し、（ A ）気候が広がり、国の立法府が置かれている都市（ オ ）およびその周辺地域が、ワイン生産の中心地である。

ワイン生産量が世界第10位のドイツは、白ワインの産地として知られている。全長約1,200キロメートル、オランダで北海にそそぐ国際河川の（ カ ）川流域を中心に、ブドウの栽培が盛んに行われている。

表1 ワインの生産量、輸出量、消費量、1人当たり年間消費量（2012年）

	生産量		輸出量		消費量		1人当たり 年間消費量 (キログラム)
	(1,000キロ リットル)	割合 (%)	(1,000キロ リットル)	割合 (%)	(1,000キロ リットル)	割合 (%)	
(A) フランス	4,562	17.7	2,123	20.4	2,263	9.4	43
スペイン	4,155	16.1	1,501	14.5	2,802	11.6	54
(B) 中国	3,112	12.1	2,141	20.6	985	4.1	25
中国	2,165	8.4	401	3.9	2,916	12.1	11
(C)	1,351	5.2	2	0.0	1,714	7.1	2
(D)	1,255	4.9	747	7.2	316	1.3	23
(E)	1,226	4.7	721	6.9	540	2.2	29
(F)	1,178	4.6	366	3.5	1,005	4.2	32
ドイツ	1,057	4.1	417	4.0	322	1.3	9
ドイツ	901	3.5	397	3.8	2,030	8.4	28
世界合計	25,823	100.0	10,381	100.0	24,190	100.0	—

資料：International Organisation of Vine and Wine（O I V、国際ブドウ・ワイン機構）のwebサイト上にあるオンライン統計データ、<http://www.oiv.int/en/databases-and-statistics/statistics>（2016年5月22日取得）。

問1 文章中および表1の空欄（ A ）～（ F ）に入る国名を答えなさい。ただし、同じ記号の空欄には同じ国名が入る。なお、（ D ）については、国名のほかに、州の名称にも使われている。

問2 文章中の空欄（ ア ）～（ カ ）に入る最も適切な語句を答えなさい。ただし、（ ア ）以外はカタカナで答えなさい。同じ記号の空欄には同じ語句が入る。

問3 以下は、文章中の下線(1), (2), (3)に関連した設問である。それぞれに答えなさい。

- (1) 工業化の進んだ北部に位置し、鉄の三角地帯の中ではもっとも西側にあり、同国最大の自動車メーカーが本社を置き、同国の主要な工業都市である都市の名称をカタカナで答えなさい。
- (2) シャンパーニュ地方やブルゴーニュ地方一帯のパリ盆地に広がり、緩く傾斜し、交互に重なった硬軟の地層が差別浸食を受けたために形成され、ブドウ栽培に適しているといわれている地形の名称をカタカナで答えなさい。
- (3) 独自の歴史、文化、伝統があり、国内で自治州の地位を持つカタルーニャ州の州都の名称を答えなさい。

Ⅲ 次の文章と表は観光に関するものである。以下の問1～問4に答えなさい。なお、文章中の（ A ）～（ D ）は表2の（ A ）～（ D ）にそれぞれ対応している。（20点）

ヨーロッパや北米では、1930年代からバカンスが広まり、1950年代には生活水準の向上や交通網の発達によって観光が大衆化する。さらに、1980年代になると、格安航空会社の登場や査証の自由化等によって国際観光客が大きく増加するようになった。また、⁽¹⁾1978年から登録が始まった世界遺産は観光資源として注目を集めており、多くの国際観光客を引き付けている。

表2は国際観光客到着数、国際観光収入、世界遺産登録数の上位10か国／地域を示しており、これら10か国／地域で上記指標の3～5割を占めている。国際観光客到着数が世界第1位の（ A ）には、首都のほかにも南東部の海岸沿いに観光都市がある。なかでも温暖な気候のもとで避寒地として発展した（ ① ）は国内第5位の人口を抱え、国際空港を有する観光都市である。

（ B ）は、国際観光客到着数が世界第2位、国際観光収入が第1位の観光大国である。同国の島しょ部に立地する州都であり、サバナ気候に属する（ ② ）は国際的な観光都市だけでなく、海上・航空交通の要衝としても知られている。

世界遺産の登録件数が最も多い（ C ）は、同国の歴史に基づいた文化遺産を多く抱えている。1980年に世界遺産に登録されたサンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会とドメニコ会修道院は、同国の北部に位置する（ ③ ）にあり、この修道院には新約聖書の事跡が描かれた壁画「最後の晩餐」が保存されている。

（ D ）では、観光業がGDPの1割を超える重要な産業となっており、地方分権のもとで観光政策が進められている。同国首都の南に位置し、古都として栄えた（ ④ ）はキリスト教、イスラム教、ユダヤ教の影響を受けた独特の文化を形成しており、1986年には旧市街全体が世界遺産に登録された。

日本では、観光立国の実現を国家戦略として位置づける観光立国推進基本法が2006年に成立し、その政策を担う観光庁が2008年に設置された。有力な観光訪問先である日本の世界遺産は2015年時点で⁽²⁾自然遺産が4件、文化遺産が15件登録されている。

表2 国際観光客到着数・国際観光収入・世界遺産登録数の国・地域別ランキング

順位	国際観光客到着数 (2014年)			国際観光収入 (2014年)			世界遺産登録数 (2015年)		
	国/地域	実数 (100万人)	割合 (%)	国/地域	実数 (10億ドル)	割合 (%)	国/地域	登録数 (件)	割合 (%)
	世界計	1,132.8	100.0	世界計	1,245.4	100.0	世界計	1,031	100.0
1	(A)	83.7	7.4	(B)	177.2	14.2	(C)	51	4.9
2	(B)	74.8	6.6	(D)	65.2	5.2	中国	48	4.7
3	(D)	65.0	5.7	中国	56.9	4.6	(D)	44	4.3
4	中国	55.6	4.9	(A)	55.4	4.4	(A)	41	4.0
5	(C)	48.6	4.3	マカオ(中国)	50.8	4.1	ドイツ	40	3.9
6	トルコ	39.8	3.5	(C)	45.5	3.7	メキシコ	33	3.2
7	ドイツ	33.0	2.9	イギリス	45.3	3.6	インド	32	3.1
8	イギリス	32.6	2.9	ドイツ	43.3	3.5	イギリス	29	2.8
9	ロシア	29.8	2.6	タイ	38.4	3.1	ロシア	26	2.5
10	メキシコ	29.1	2.6	香港(中国)	38.4	3.1	(B)	23	2.2
	上位10位の計	492.0	43.4	上位10位の計	616.5	49.5	上位10位の計	367	35.6

資料：UNWTO “Tourism Highlights 2015 Edition,” 問3の機関が公表している World Heritage List より作成。

問1 文章中および表2の(A)～(D)に入る国名を答えなさい。

問2 文章中の(①)～(④)に入る都市名を答えなさい。

問3 下線部(1)に関して、世界遺産登録の可否を決定する国際機関名を欧文略称で答えなさい。

問4 下線部(2)に関して、日本の自然遺産のうち、最も南に位置する自然遺産の名称を答えなさい。

IV 次の文章は地形に関するものである。以下の問1と問2に答えなさい。(20点)

地形は(1) 営力と(2) 営力によって形成される。(1) 営力には、火山活動や地殻変動があり、(2) 営力には、風化、浸食、堆積作用などがある。

山地には、造山運動によって形成されたものと、火山活動によって形成されたものがある。造山運動による地形は、断層運動の累積によって隆起した断層山地と、層状構造をもつ岩石が波曲状に変形した(3) 山地とに分けられる。

火山活動による火山地形は新期造山帯に多く、さまざまな形態をとる。富士山は、溶岩と火山^{さいせつがん}砕屑岩が交互に噴出し、それらが層状に堆積して^{えんすいけい}円錐形となった(4) 火山である。また、阿蘇山で見られるように、爆発や陥没などの火山活動によってできた大規模な凹地を(5) という。

武蔵野台地のように、更新世の地層から成り、平野が土地の隆起や海水面の低下によって形成された扇状地や三角州、台地状の地形を(6) という。扇状地は上流から(a), (b), (c) と区分される。(b) では水はけがよく、河川の水は(d) 水となるため、この地域では畑や果樹園として利用されることが多い。さらに(d) 水は(c) で地表に出て(e) 水となるため、日本では古くから集落や水田が発達してきた。

問1 文章中の空欄(1) ~ (6) に入る最も適切な語句を答えなさい。同じ記号の空欄には同じ語句が入る。

問2 文章中の空欄(a) ~ (e) に入る最も適切な語句を下記のア~ツから選び、その記号で答えなさい。同じ記号の空欄には同じ語句が入る。

<選択肢>

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| ア. 扇面 | イ. 扇網 | ウ. 扇央 | エ. 扇垣 | オ. 扇端 |
| カ. 扇眼 | キ. 扇頂 | ク. 遊 | ケ. 離 | コ. 汽 |
| サ. 湧 | シ. 沈 | ス. 長流 | セ. 潮流 | ソ. 表流 |
| タ. 越流 | チ. 潜流 | ツ. 伏流 | | |



